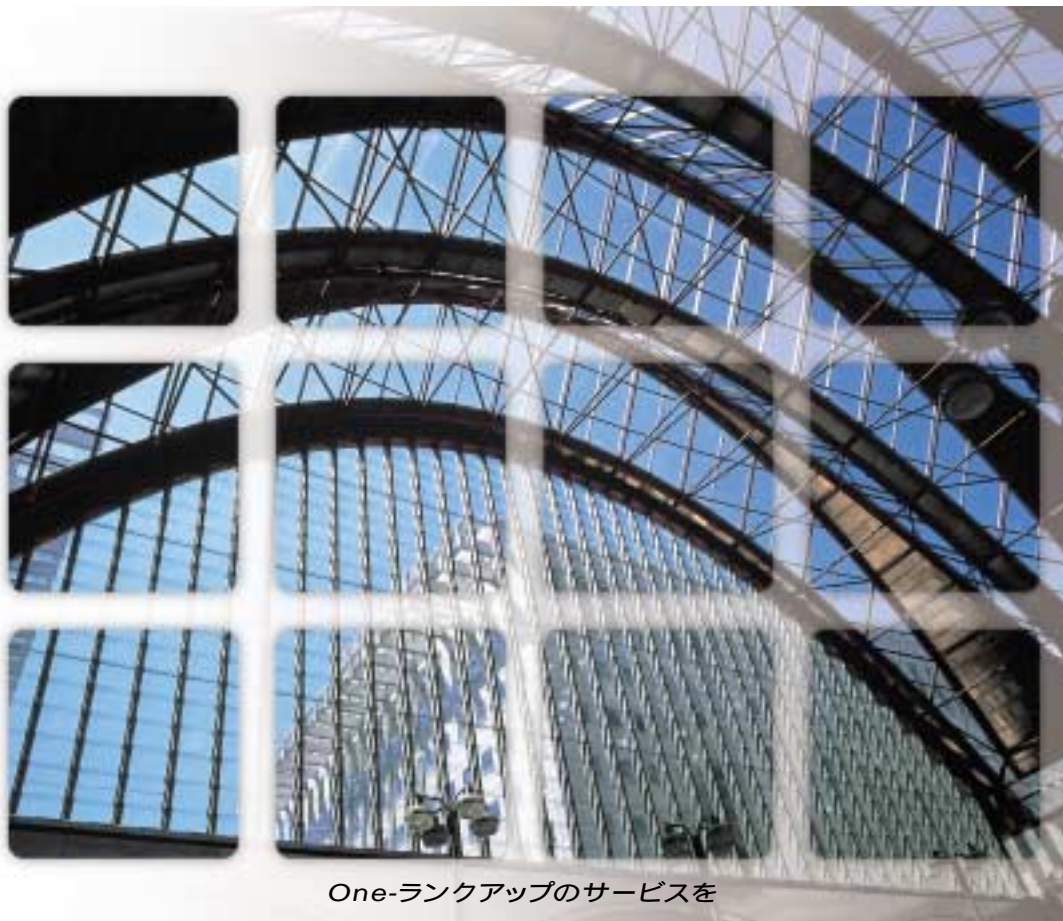


FURUSATO REPORT

第46期事業報告書 2003年4月1日～2004年3月31日



One-ランクアップのサービスを

To Our Shareholders



代表取締役会長 古里 龍一
代表取締役社長 古里 龍平

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここにフルサトグループ第46期事業報告書をお届けするにあたり、日頃の暖かいご支援に対して心より厚く御礼申し上げます。

第46期の業績

当社グループは、「ステークホルダーに対する責任を全うするために『利益ある持続』を目指す」という経営目的に基づき、当期におきましても積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、売上高は620億3千2百万円と前期に比べて19.6%の増収となり、経費率の改善等が進んだことから営業利益が15億7千5百万円と大幅な増益を果たし、当期純利益は7億7千8百万円(前期は1億3千7百万円の純損失)となりました。

今後の方針

当社グループを取り巻く環境は、家電産業や自動車産業を中心とする民間設備投資が、回復傾向を示すものの、鋼材価格の高騰など先行きにおける不安材料が残されています。

このような環境の中で当社グループは、『利益ある持続』を実現するために、「お客様重視」を基本思想として、機械工具部門と鉄骨建築関連資材部門および部材部門をコア事業と位置づけ、状況に応じた事業戦略を的確に定め、確実に遂行していくことにより、継続的な成長軌道を構築してまいります。

新経営体制

6月29日の第46期定時株主総会後の取締役会において、古里龍一が代表取締役会長に、古里龍平が代表取締役社長に就任いたしました。今後はこの新体制のもと、企業価値の拡大を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2004年6月

新社長からのメッセージ

●機械工具部門における成長戦略

機械工具部門での主なマーケットである製造業界は、市場規模が大きく、寡占の企業体が存在していない状態です。このような事業環境の中、機械工具部門における主要戦略は、マーケットシェアの積極的な拡大により、売上および利益の高い成長を確保することです。その実現のために、販売支援システムの導入やマーケティングツールの開発、物流インフラの整備・拡充等に積極的な投資を実施します。また、部門の中でのコアコンピタンスを「機械とその周辺分野」とし、新たな仕入先の開拓や販売店との協力体制の強化などに注力してまいります。

このたび代表取締役社長に就任いたしました古里龍平でございます。株主の皆さまにおかれましては、日頃のご支援に感謝いたしますと共に、これからのフルサトグループの方向性についてお話することで、就任のご挨拶とさせていただきます。

今後のグループを取り巻く環境は、依然として不透明で予断を許さない状況が続いていくものと思われます。このような状況にあつてフルサトグループは、集中すべき分野を正確に見極め、確実に実直に取り組んでいくことにより、成長を果たしていくという姿勢は、これまでと変わることはありません。

それではフルサトグループのコア事業における成長要因についてお話してまいります。



Top Message

CONTENTS

- | | | |
|-----------------|--------------------|--------------|
| ■ 株主の皆さまへ … 1 | ■ 連結決算の概要 … 7 | ■ 会社の概要 … 13 |
| ■ トップメッセージ … 2 | ■ 単独決算ハイライト … 9 | ■ 株式の状況 … 14 |
| ■ 連結決算ハイライト … 4 | ■ 単独決算の概要 … 10 | |
| ■ 連結業績の概況 … 5 | ■ 株主優待制度のお知らせ … 11 | |

Top Message

● 鉄骨建築関連資材/部材部門での成長戦略

一方、鉄骨建築関連の両部門においては、当社グループのマーケットシェアが高く、顧客の新規開拓が鈍化しています。また、鉄骨加工重量の推移を見ても、市場規模の大幅な拡大は見込めない状況です。このような事業環境の中、既存顧客とのつながりをより緊密にすることで販売基盤の安定化に努め、グループ収益構造のコア部分を担っていきます。さらに、工具類を重点販売品目と位置づけ、この部門における成長シナリオの牽引役とします。

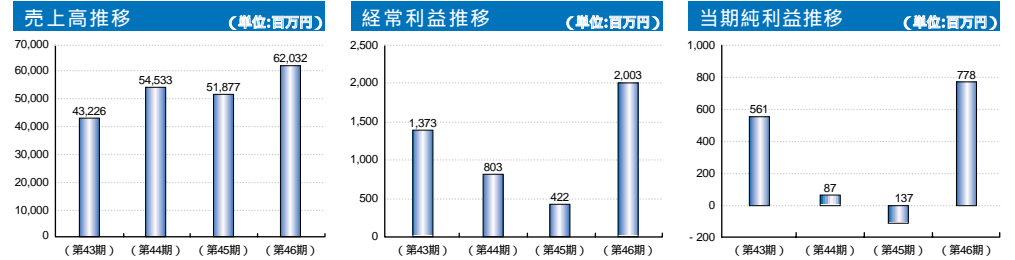
● 中長期的成長エンジン

次に、中長期的な視点にたった成長エンジンですが、これまで培ってきた仕入れソース、全国にわたる販売拠点網、販売ノウハウを最も効率よく転用することができる新たな分野に対して、近い将来コア事業とするための投資を適切な判断に基づいて実施します。

このような各部門における取組みにより、グループ企業価値の長期的最大化を目指してまいります。それによりまして、株主の皆さまのご期待にお応えできるものと信じておりますので、さらに一層のご支援とご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



古里 龍平



区分	単位	2001年3月期 (第43期)	2002年3月期 (第44期)	2003年3月期 (第45期)	2004年3月期 (第46期)
売上高	百万円	43,226	54,533	51,877	62,032
営業利益	百万円	1,060	360	7	1,575
経常利益	百万円	1,373	803	422	2,003
当期純利益	百万円	561	87	137	778
総資産	百万円	39,997	33,018	32,206	36,286
株主資本	百万円	18,555	18,298	18,734	19,346
株主資本比率	%	46.4	55.4	58.2	53.3
1株当たり当期純利益 EPS	円	38.34	6.20	9.62	47.83
1株当たり株主資本	円	1,277.69	1,309.38	1,123.80	1,245.34
株主資本利益率 ROE	%	3.1	0.5	0.7	4.1

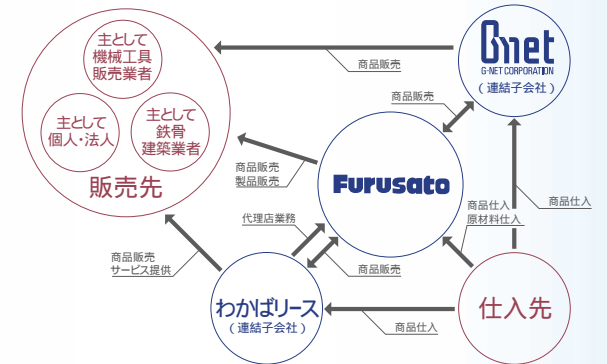
企業集団の状況

当社の企業集団は、フルサト工業株式会社(当社)及び子会社2社で構成されており、主として鉄骨建築関連資材、機械工具類の仕入販売、鉄骨建築関連部材の製造販売ならびにこれらに付帯するサービス業務等を営んでおります。

当グループの事業状況の概略図及び会社名は次のとおりであります。

子会社の事業内容

- 株式会社 ジーネット
機械工具、工作機械、搬送・運搬機器、住設機器、家電・生活用品等の販売
- 株式会社 わかばりーす
総合リース業務、保険代理店業務および商品販売



グループ営業概況

当社グループに關係の深い製造業および鉄骨建築業界におきましては、企業業績の改善を背景とした生産設備の新規投資や更新需要などを中心に、民間設備投資が持ち直し、工場および倉庫等の鉄骨建築の需要にも回復の兆しが見え始めました。しかしながら、受注競争の激化や原材料の高騰など、依然として経営環境には不安材料が残っております。

当期の連結売上高は620億3千2百万円で、機械工具部門における機械関連が大きく売上を伸ばしたことなどにより前期に比べ19.6%の増収となりました。営業利益は賃借料

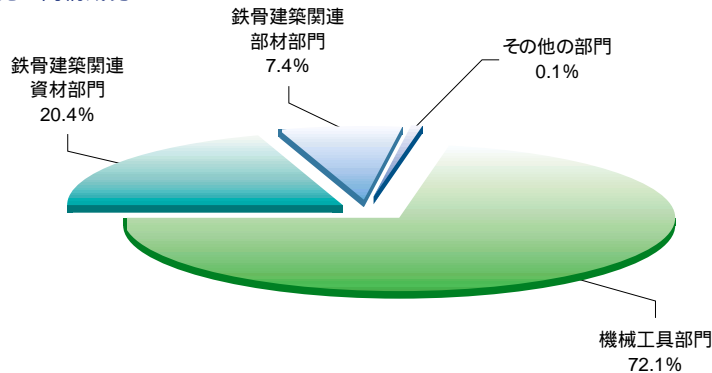
負担の低減などによる経費率の大幅な改善が寄与し、前期に比べ15億6千8百万円増の15億7千5百万円を計上することができました。営業外損益が4億2千7百万円の収益(純額)となったことから、経常利益は20億3百万円となりました。

貸倒引当金繰入額1億2千6百万円と退職給付引当金繰入額において当期均等償却額と未処理金額全額の一括費用処理による3億2百万円などを含む特別損失は4億7千9百万円となり、その結果当期純利益は、7億7千8百万円(前期は1億3千7百万円の純損失)となりました。

セグメント別概要

		前期(2003年3月期) (百万円)	当期(2004年3月期) (百万円)	増減率 (%)
機械工具部門	売上高	36,252	44,738	23.4
	営業利益	152	735	-
鉄骨建築関連資材部門	売上高	11,429	12,623	10.5
	営業利益	262	653	149.1
鉄骨建築関連部材部門	売上高	4,123	4,595	11.4
	営業利益	107	166	-
その他の部門	売上高	72	74	1.9
	営業利益	6	4	33.7
合計	売上高	51,877	62,032	19.6
	営業利益	7	1,575	-

セグメント別売上高構成比



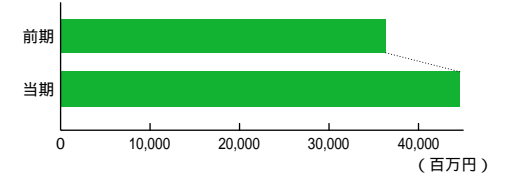
セグメント別の営業概況

機械工具部門

機械工具部門の業績は、デジタル家電に牽引された家電産業の活況、自動車産業や半導体関連産業における回復傾向と、製造業全般における老朽化設備の更新サイクルが複合的に重なったことにより、好調に推移しました。特に機械関連およびFA関連は大幅増収となり、ボリュームの

売上高の内訳	前期(2003年3月期) (百万円)	当期(2004年3月期) (百万円)	増減率 (%)
機械工具	36,252	44,738	23.4
合計	36,252	44,738	23.4

大きい機関連も堅調に増加したこと等により、売上高は前期比23.4%増収の44億7千38百万円、営業利益は7億3千5百万円(前期は1億5千2百万円の営業損失)となりました。

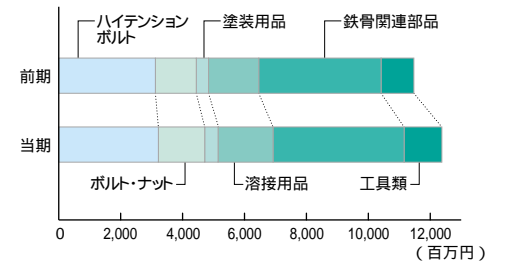


鉄骨建築関連資材部門

鉄骨建築業界は、7～9月期以降に中小案件を主体とした着工が増加したことにより、鉄骨需要量は前年比微増となりました。しかしながら、建築用鋼材の品薄感と価格上昇による先行きの不透明感による不安材料

は残されており、そのような中、拡販と値戻しを行なった結果、ハイテンションボルトは微増にとどまりましたが、ボルト・ナット、溶接用品、鉄骨関連運部品は順調に推移し、重点販売を実施した工具類は大きく増加しました。

売上高の内訳	前期(2003年3月期) (百万円)	当期(2004年3月期) (百万円)	増減率 (%)
ハイテンションボルト	3,109	3,213	3.3
ボルト・ナット	1,316	1,502	14.1
塗装用品	395	441	11.5
溶接用品	1,616	1,769	9.5
鉄骨関連運部品	3,935	4,350	10.5
工具類	1,055	1,345	27.5
合計	11,429	12,623	10.5

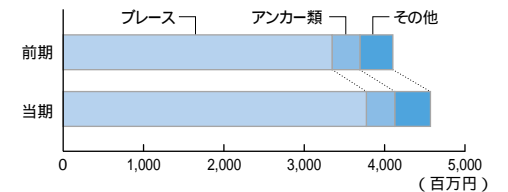


鉄骨建築関連部材部門

主力製品であるブレースは、工場、倉庫等の中小案件の増加により前期比11.8%の売上増となりました。また、原材料費上昇に伴い値上げを実施し、生産効率向上による原価低減効果等により、鉄骨建築関連部

材部門の売上高は、45億9千5百万円(前期比11.4%増)、営業利益は1億6千6百万円(前期は1億7百万円の営業損失)となりました。

売上高の内訳	前期(2003年3月期) (百万円)	当期(2004年3月期) (百万円)	増減率 (%)
ブレース	3,363	3,759	11.8
アンカー類	348	397	14.1
その他	412	439	6.5
合計	4,123	4,595	11.4



その他の部門

リース業務および保険代理店業務により、当部門の売上高は7千4百万円、営業利益は4百万円となりました。

連結決算の概要(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2003.3.31現在	2004.3.31現在
資産の部		
流動資産	20,965	23,644
現金及び預金	2,199	2,507
受取手形及び売掛金	14,233	17,596
有価証券	1,009	99
たな卸資産	2,823	3,012
繰延税金資産	169	273
その他	652	328
貸倒引当金	123	173
固定資産	11,240	12,641
有形固定資産	7,898	9,462
建物及び構築物	1,877	2,493
土地	5,436	6,443
その他	585	525
無形固定資産	338	271
連結調整勘定	84	55
その他	253	215
投資その他の資産	3,003	2,907
投資有価証券	1,003	1,416
繰延税金資産	829	800
その他	1,663	1,249
貸倒引当金	493	559
資産合計	32,206	36,286

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2002.4.1～ 2003.3.31	2003.4.1～ 2004.3.31
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	5,133	5,975
資本剰余金増加高	841	-
株式交換による新株の発行	841	-
資本剰余金期末残高	5,975	5,975
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	7,924	7,616
利益剰余金増加高	-	778
当期純利益	-	778
利益剰余金減少高	307	178
配当金	154	163
役員賞与	15	15
当期純損失	137	-
利益剰余金期末残高	7,616	8,216

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2003.3.31現在	2004.3.31現在
負債の部		
流動負債	12,186	15,224
支払手形及び買掛金	11,182	13,297
未払法人税等	74	930
その他	929	995
固定負債	1,285	1,715
退職給付引当金	903	1,324
役員退職慰労引当金	348	361
その他	33	29
負債合計	13,472	16,939
資本の部		
資本金	5,232	5,232
資本剰余金	5,975	5,975
利益剰余金	7,616	8,216
その他有価証券評価差額金	24	308
自己株式	65	385
資本合計	18,734	19,346
負債及び資本合計	32,206	36,286

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2002.4.1～ 2003.3.31	2003.4.1～ 2004.3.31
売上高	51,877	62,032
売上原価	44,240	52,836
売上総利益	7,637	9,196
販売費及び一般管理費	7,630	7,620
営業利益	7	1,575
営業外収益	624	684
受取利息及び配当金	76	52
仕入割引	463	521
賃貸料	28	62
その他	55	47
営業外費用	209	256
支払利息	-	4
手形売却損	67	54
売上割引	115	139
賃貸原価	-	41
その他	26	16
経常利益	422	2,003
特別利益	-	28
有価証券売却益	-	24
固定資産売却益	-	3
特別損失	492	479
貸倒引当金繰入額	113	126
有価証券評価損	109	1
会員権評価損	106	-
退職給付引当金繰入額	151	302
その他	11	48
税金等調整前当期純利益	69	1,552
法人税、住民税及び事業税	299	1,075
法人税等調整額	189	301
少数株主利益	42	-
当期純利益	137	778

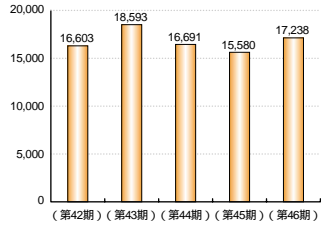
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

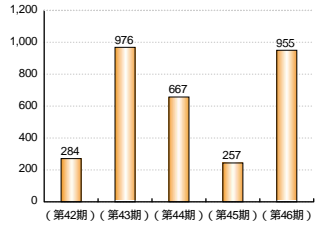
科目	前期	当期
	2002.4.1～ 2003.3.31	2003.4.1～ 2004.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損益	69	1,552
減価償却費	353	380
連結調整勘定償却額	26	29
退職給付引当金の増加額	185	420
役員退職慰労引当金の増加額又は減少額()	16	13
貸倒引当金の増加額	64	116
受取利息及び受取配当金	76	52
支払利息及び手形売却損	67	58
有価証券売却損	3	15
有価証券評価損	109	1
会員権評価損	106	-
売上債権の増加額	258	3,416
たな卸資産の減少額又は増加額()	195	188
仕入債務の増加額又は減少額()	430	2,017
未払費用の増加額	18	30
役員賞与の支払額	15	15
その他	52	244
小計	211	1,208
利息及び配当金の受取額	65	46
利息及び手形売却損の支払額	67	58
法人税等の支払額	434	210
営業活動によるキャッシュ・フロー	224	985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	600	1,010
投資有価証券の取得による支出	2	29
投資有価証券の売却による収入	58	83
有形固定資産の取得による支出	271	1,886
貸付けによる支出	10	26
貸付金の回収による収入	14	14
子会社株式の追加取得に伴う支出	30	-
従業員保険積立金の満期による収入	-	105
その他	119	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	239	593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	64	320
配当金の支払額	153	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	218	482
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の減少額	203	90
現金及び現金同等物の期首残高	2,801	2,598
現金及び現金同等物の期末残高	2,598	2,507

単独決算ハイライト

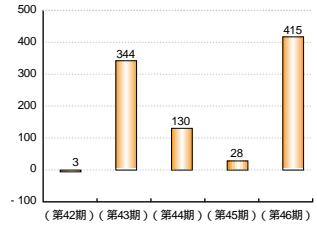
売上高推移 (単位:百万円)



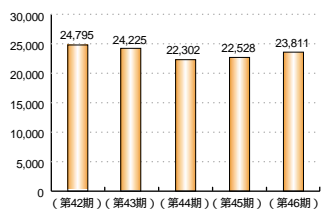
経常利益推移 (単位:百万円)



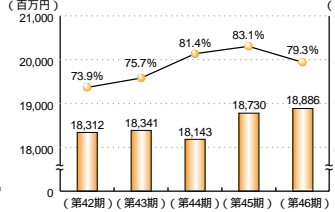
当期純利益推移 (単位:百万円)



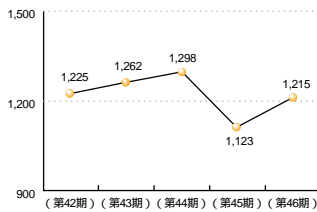
総資産の推移 (単位:百万円)



株主資本の推移 (百万円)



1株当たり株主資本の推移(単位:円)



区分	単位	2000年3月期 (第42期)	2001年3月期 (第43期)	2002年3月期 (第44期)	2003年3月期 (第45期)	2004年3月期 (第46期)	
売上高	百万円	16,603	18,593	16,691	15,580	17,238	
営業利益	百万円	117	782	495	111	819	
経常利益	百万円	284	976	667	257	955	
当期純利益	百万円	3	344	130	28	415	
総資産	百万円	24,795	24,225	22,302	22,528	23,811	
株主資本	百万円	18,312	18,341	18,143	18,730	18,886	
株主資本比率	%	73.9	75.7	81.4	83.1	79.3	
1株当たり当期純利益	EPS	円	0.25	23.51	9.20	0.86	25.14
1株当たり株主資本	円	1,225.73	1,262.91	1,298.25	1,123.56	1,215.69	
株主資本利益率	ROE	%	0.0	1.9	0.7	0.2	2.2

単独決算の概要 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

単独貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2003.3.31 現在	2004.3.31 現在
資産の部		
流動資産	10,974	10,900
現金及び預金	1,701	1,817
受取手形及び売掛金	5,100	5,865
有価証券	1,009	99
たな卸資産	1,203	1,361
その他	2,093	1,905
貸倒引当金	133	148
固定資産	11,554	12,910
有形固定資産	7,792	9,365
無形固定資産	83	77
投資その他の資産	3,678	3,468
資産合計	22,528	23,811

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2003.3.31 現在	2004.3.31 現在
負債の部		
流動負債	3,294	4,317
支払手形及び買掛金	2,821	3,396
その他	473	920
固定負債	503	608
負債合計	3,798	4,925
資本の部		
資本金	5,232	5,232
資本剰余金	5,975	5,975
利益剰余金	7,594	7,832
株式等評価差額金	6	232
自己株式	65	385
資本合計	18,730	18,886
負債及び資本合計	22,528	23,811

単独損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2002.4.1 ~ 2003.3.31	2003.4.1 ~ 2004.3.31
売上高	15,580	17,238
売上原価	11,587	12,623
販売費及び一般管理費	3,881	3,794
営業利益	111	819
営業外収益	167	274
営業外費用	21	139
経常利益	257	955
特別利益	-	3
特別損失	92	144
税引前当期純利益	164	814
法人税、住民税及び事業税	199	516
法人税等調整額	62	117
当期純利益	28	415
前期繰越利益	338	184
中間配当額	84	79
当期末処分利益	282	520

利益処分

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2003.3月期	2004.3月期
当期末処分利益	282	520
任意積立金取崩額	0	0
圧縮記帳積立金取崩額	0	0
合計	282	520
利益処分額	98	91
利益配当金 (1株につき5円)	83	77
役員賞与金	15	14
次期繰越利益	184	428

注1. 平成15年12月2日に、79,876,825円(1株につき5円)の中間配当を実施しております。
注2. 利益配当金は、当期末の発行済株式の総数から自己株式(1,414,856株)を除いて算定したものであります。

株主優待制度のお知らせ

本年2月に発表いたしましたとおり、平成16年3月期末の株主さまから株主優待制度を実施することいたしました。これは株主の皆さまの日頃よりの暖かいご支援に、お応えするための制度のひとつです。

当社の株主優待制度は、3月31日現在、当社の株式を500株(1単元)以上ご所有の株主さまに、3,000円相当の産地直送品が選べる『ふるさと小包』をお贈りいたします。

本年の株主ご優待に該当される株主さま(平成16年3月31日現在、株主名簿に記載の株主さま)には、6月末を目処に(財)ポータルサービスセンターより『ふるさと小包(花鳥風月)』のMy Selectionカタログをお届けいたします。カタログの25種類の品物から好きな1品をお選びいただき、カタログと同封のお申し込みはがきにてご注文ください。

株主優待制度に関するお問い合わせ
 フルサト工業株式会社 総務部
 TEL.06-6946-9608 FAX.06-6946-9780
『ふるさと小包』に関するお問い合わせ
 My Selectionカタログに記載の
 ポータルサービスセンターまで



お申込受付期間は、カタログ送付後
 90日間となっておりますので、ご注意ください。

商品の一例 このほかにも魅力ある商品を計25種類をご用意しております。
 (詳しくは、別にお届けいたしますカタログをご覧ください。)



日高こんぶしょうゆセット



旭川生ラーメン「とんこつセット」



りんごのまんま



信州善光寺みそ 西之門



煌彩ハムギフト



膳 RZ-30



静岡玉露・煎茶詰合せ



梅ドレッシング・紀州梅干セット



砂丘らっきょの甘酢漬



小豆島手延そうめん寒じこみ



鳴海屋のめんたい



盛付例

長崎カステラ

会社の概要

会社の概要 (2004年3月31日現在)

商号	フルサト工業株式会社
英文商号	FURUSATO INDUSTRIES,LTD.
本社	大阪市中央区南新町一丁目2番10号
設立	昭和34年5月19日
資本金	52億3,241万円
従業員数	378名
事業内容	鉄骨建築関連資材の販売 および同関連部材の製造、販売

役員 (2004年6月29日現在)

代表取締役会長	古里 龍一
代表取締役社長	古里 龍平
専務取締役	衣斐 正明
常務取締役	小倉 隆
取締役	山内 進
取締役	金崎 誠一
取締役	今吉 正利
常勤監査役	岸本 重光
監査役	川口 富男
監査役	堀子 利雄

事業所及び工場 (2004年6月29日現在)

営業所：35、事業所：9、工場：3、
配送センター：2、支店：1

- 営業所・支店
- 事業所:生産設備を有する営業拠点
- 工場
- ★ 配送センター



株式の状況 (2004年3月31日現在)

株式の状況

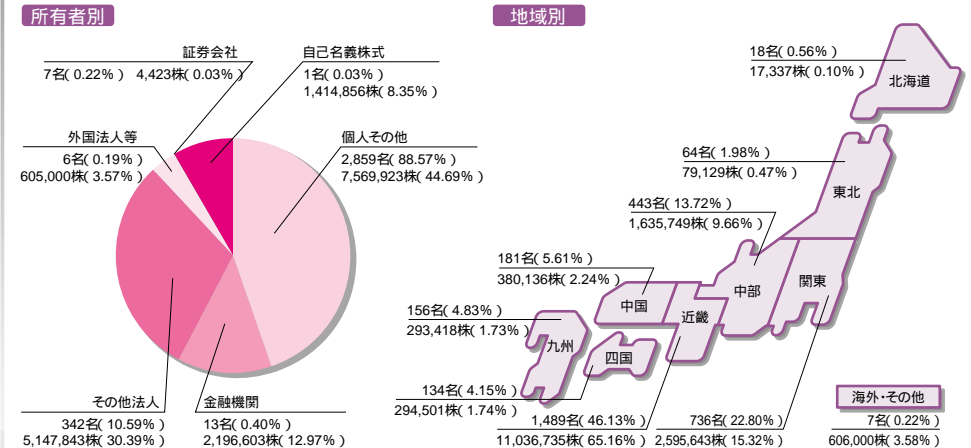
会社が発行する株式の総数…… 42,125,500株 発行済株式の総数…………… 16,938,648株
株主数…………… 3,228人

大株主

株主名	当社への出資状況 持株数(議決権比率)	当社の大株主への出資状況 持株数(議決権比率)
有限会社エフアールテイ	2,168,361(14.34%)	
古里龍一	835,500(5.52%)	
株式会社UFJ銀行	755,440(4.99%)	
フルサト工業従業員持株会	603,333(3.98%)	
古里龍平	501,500(3.31%)	
日本生命保険相互会社	496,640(3.28%)	
神鋼商事株式会社	386,891(2.55%)	356,945(0.45%)
阪和興業株式会社	344,000(2.27%)	100,410(0.05%)

当社は自己株式1,414,856株を所有しておりますが、議決権がないため記載しておりません。
株式会社UFJ銀行への出資はありませんが、同行の持株会社である株式会社UFJホールディングスの普通株式196株(議決権比率0.00%)を所有しております。

株式の分布状況



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会開催	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要がある時は、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
配当金受領	利益配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
1単元の株式の数	500株
公告掲載新聞	大阪市において発行される日本経済新聞
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話(06)6229-3011(代表) 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の 電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料)0120-24-4479 本店証券代行部 0120-68-4479 大阪支店証券代行部 インターネットホームページ http://www.ufjtrustbank.co.jp/
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 本店・全国各支店 野村證券株式会社 本店・全国各支店
单元未満株式の 買取り請求場所	名義書換代理人の事務取扱場所および同取次所 なお、「株券等の保管振替制度」をご利用の株主様は、 お取引証券会社等を経由してお申し出願います。



この印刷物は古紙100%
配合の再生紙を使用し
ています。



この印刷物は、環境にやさしい
大豆油インキを使用しています。

PRINTED WITH
SOY INK™

フルサト工業株式会社

〒540-0024 大阪市中央区南新町一丁目2番10号 電話06-6946-9600(大代表)
インターネットホームページ <http://www.furusato.co.jp>

ワンランクアップのサービスを

Furusato
フルサト工業株式会社